

エネルギー環境教育論[Energy and Environmental Education]							
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]							
萩原 豪[099-285-3757]							
E-Mail	k6219828@kadai.jp			受講対象	全		
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 2 分野		開講期	前期水曜 4	単位等 2
共同担当教員名							
教育目標のキーワード							
視野・判断力・探求能力/コミュニケーション能力と相互理解							
学習目標(学生の達成 目標)							
受講生が「自ら問題を発見・考察・分析・整理・発表する」という一連の流れを通じ、社会人としての基礎技術を習得することを最終目標としています。この講義を通じて、多角的な視点から事象を見て考察する経験をし、受講生が将来、実社会での情報発信・情報共有に活かせるようにしていきたいと思いますので、受講生には積極的な参加（単なる出席ではなく発言すること）を求めます。なお、情報発信の訓練として、課題等（A4用紙 1 枚程度）を最低 2 回提出してもらいます。							
授業概要(目的・内容・方法)							
近年、地球温暖化問題や、CO2（二酸化炭素）の排出を抑制しよう、という動きがあることはいろいろな場所で行われています。地球温暖化問題とCO2の関係について知っている人が多いと思いますが、これが私たちの何気ない日常生活やライフスタイルに大きく起因していることは、普段あまり意識していないと思います。石油に代表される資源やエネルギーを使うことによって、私たちの生活は成り立っていますが、このままでは地球は持続不可能になることは自明です。この状態を回避するべく、私たちは次世代のために「持続可能な社会」を構築していく必要があります。							
これらの問題意識を踏まえて、現代社会における環境教育の重要性を、特に資源・エネルギー問題に着目し、「持続可能な社会の構築」という視点から受講生と一緒に考えていきます。本講義では国際理解教育などの関連領域や、日本とアジアにおける具体的な実践例を取り上げながら、「複眼的な思考」を養っていきます。そのため、基本的に授業（90分）の前半は講義形式、後半はグループワークを行います。（本講義は環境問題に関する知識伝達型の講義ではありません。）							
授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)							
第1回目の授業ではガイダンスを行います。その際、履修希望者の関心がどのようなところにあるのかを確認していきます。その後の流れは以下のように考えていますが、受講生の関心や時事的なテーマなども踏まえて、その都度、柔軟に対応していきます。							
・ガイダンス ・モノの見方と考え方 ・環境教育とは何か、その背景と現状、近接領域 ・グループワーク中間発表 ・ESD（持続可能な開発のための教育）の現状と課題 ・グループワーク最終発表 ・全体総括							
受講要件	本講義のテーマに関心をもっていること。できる限り、受講生の知的好奇心に対する便宜を図っていききたいと思います。いろいろな「モノ」を自分の眼で見たい、という好奇心旺盛な学生諸君の参加を待っています。						
評価基準および方法	出席20%、授業態度20%、課題等提出物30%、グループワーク30%で総合的に判断します。出席が総授業数の3分の2未満の場合、または最終レポートの提出がない場合は、評価対象外とします。						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は毎回の授業で配布します。課題作成のために必要な書籍は別に指定します。			参考書	阿部治・野田研一監修『あなたの暮らしが世界を変える 持続可能な未来がわかる絵本』山と溪谷社、2007年。今村光章編『持続可能性に向けての環境教育』昭和堂、2005年。日本環境教育フォーラム編著『日本型環境教育の提案』小学館、2000年。書籍・新聞・雑誌・マンガ・映画・webなど、日常生活に関することを幅広く取り上げていきます。		

授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	【オフィスアワー】毎週木曜日 4 時限目 基本的にメールでの対応を主としますが、直接の面談も歓迎します。オフィスアワーでの面談については、できるだけ事前にメールでアポイントをとるようにしてください(ダブルブッキングを避けるため)。	その他	グループワークを中心とするので、履修希望者は必ず第1回目の授業に出席してください。第1回目の授業をやむを得ず欠席する場合(もしくは欠席した場合は、第2回目の授業前にメールで連絡を入れてください。基本的に質問事項は授業後、もしくはメールにて受け付けます。または、学内で見つけたら、その場で声をかけてみてください。時間がある場合にはその場で対応します。オフィスアワーでの対応については、できるだけ事前にメールでアポイントをとるようにしてください。詳細については稲盛アカデミーのウェブサイト参照してください。(http://www.inamori-academy.jp)
-------------------------------------	--	------------	---